

# みんなで目指そう！洞爺湖町の脱炭素社会

VOL.1 産業振興課ゼロカーボン推進係（☎74-3005）

近年、気候変動を背景とする異常気象が世界各地で発生し、国内においても大雨、台風等による被害、農作物や生態系への影響が出ており、今後も、豪雨や猛暑のリスクがさらに高まることが予測されています。

このことから、日本国内でも地球温暖化・脱炭素社会に向けて対策が急速に進められており、洞爺湖町においても令和5年1月に「洞爺湖町ゼロカーボンシティ宣言」を行い、2050年の脱炭素社会を目指していくこととしましたが、その実現のためには町民皆さまのご理解とご協力が不可欠となります。

今月から数回にわたり、地球温暖化・脱炭素をテーマにお知らせしていきたいと思えます。

## 最初のテーマは「地球温暖化」です！！

地球は、太陽によって温められ、余分な熱が宇宙に放出されることで、生物が生きていく上で、ほどよい温度である平均約15℃に保たれています。

宇宙へ放出される熱の一部は、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）や水蒸気などの温室効果ガスなどの働きにより地球にとどまります。もし、大気中に温室効果ガスが全くない場合、地球の平均温度は約マイナス19℃になるといわれています。

このように、温室効果ガスは、本来生物が生きるために必要不可欠なものです。しかし、現在は二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスがかなり増加したため、地球にとどまる熱が多くなり、平均気温が上昇しています。このことを「地球温暖化」と呼んでいます。

※温室効果ガスとは、大気中に含まれる二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素、フロンガスの総称で、太陽や地表からの熱を吸収する性質があります。

なぜ、二酸化炭素が増えたのでしょうか。

それは、産業革命以降、人口が増えたことに加え、石油や石炭などの化石燃料が大量に消費されてきたからです。化石燃料が消費（燃焼）されると、中に含まれていた炭素が、二酸化炭素として大気中に排出されます。

私たちの暮らしの中でも、多くの二酸化炭素を排出し続けています。2019年度には、1年間に1世帯当たり約4tの二酸化炭素が排出され、約30%が照明・家電製品から、約26%が自動車から、約16%が暖房から排出されています。

このように、色々なことに電気を使い、自動車（エコカーを除く）に乗ることで、私たちの暮らしは便利になりましたが、同時に、地球温暖化が進む原因の一つとも言えます。

次号に続く！ 次回のテーマは、「脱炭素」についてです。

